

4月29日(水曜日)「ソロモン(1)王の登場」

【新改訳 2017】

Ⅰ 列王記 2・12、3・1-4

「ソロモンは父ダビデの王座に着き、その王位は確立した。」(2・12)

「ソロモンは主を愛し、父ダビデのおきてに歩んでいたが、ただし、彼は
高き所でいけにえをささげ……ていた」(3・3)

ダビデ王国は40年続き、ダビデは70歳で死にました。そしてバテ・シェ
バを母として生まれた息子、ソロモンが王位を継承しました。

古今東西を問わず、権力者の跡目争いはよくあることです。父ダビデ
はソロモンを考えていましたが、異母兄のアドニヤも王位を狙っていま
した。王の裁断が下って、ソロモンが王位に着いた後も、アドニヤは謀略
のために消され、禁命を破ったシムイも警戒され、打ち取られる羽目に
なりました。

ダビデからソロモンへと、順調で平穏な継承を考えがちですが、そうで
はありませんでした。ただ、確かに神は、人の争いの中でも、変わるこ
となくご計画を進めておられたのです。

～祈り～

主よ。あなたのご主権とご真実を覚え、恐れつつも感謝します。どうか、

私たちの争いのために、あなたのみわざを妨げてしまうことがありませんように。

【学びのために】

ソロモンが王位に着くことに関して、異母兄弟たちとの相克の様子は、I列王記1・5-2・46参照